

最高裁 東電旧経営陣の「業務上過失致死」を認めず上告棄却 国の地震本部の「長期評価」=15.7m津波の無視を合法化

福島原発事故が発生してから1年間、検察が東京電力の事故責任を立証しないことに対して、福島県の住民ら約1万4千人が東電幹部の刑事責任を検察に告訴した。しかし検察は立件せず、検察審査会の2回の議決を得て、2016年に強制起訴となった。地裁、高裁そして最高裁の9年間の裁判闘争を通じて、東電が巨大津波を無視して運転を継続してきたことが明らかとなり、多くの民事訴訟に寄与してきた。

東電旧経営陣は地震対策を軽視してきた

旧経営陣には、15.7mの長期予測も伝わっていた以上、防潮堤工事や浸水防止工事などを実施すべきであったと指摘された。それに対して地裁・高裁の判決では、「事故には間に合わなかった」と判断して、事故を止めるには「原発を止めるしかなかった」と論理を展開し、「原発を止めるという『現実的な可能性』を被告らは認識できなかった」とすることで無罪とした。そんな理屈なら「津波の正確な予測」ができなければ、誰の責任も問えない。

東電責任を強調した草野裁判官の補足意見

草野裁判官は、「地震本部の長期予測は見過ごすことのできない重みがあったこと」、「東電は耐震安全性評価をして国に報告することが求められていたのに、2年10か月以上報告を怠った」、「もし速やかに報告し、国が対策を命じておれば事故を回避できた可能性があった」との補足意見を付け加えた。

東電の旧経営陣の責任をめぐる民事訴訟

株主代表訴訟などの民事では、同じように旧経営陣が津波を予測できたかが争点となり、東電の責任を認めた判決が相次いでいる。今回の最高裁決定が今後の高裁での判断に影響する可能性もある。

伊方原発差し止め訴訟を広島地裁棄却 活断層、火砕流の危険性を認めず

四国電力伊方原発の運転差し止めを求める広島訴訟に対して、広島地裁は5日に「(原発運転による)具体的危険は認められない」として棄却した。

原発沖合に活断層が「ないといえるものではない」としながら訴えを退けた。広島高裁では過去2回運転禁止の仮処分が命令され、異議審で取り消されてきた。電力会社の調査結果や規制委の論理から安全性を判断し、「具体的な危険性を原告が主張すべき」として原告の主張を封殺しようとしている。

「アジアから問われる日本の戦争」展 (5月4日～5日 阿倍野市民学習センター)

「アジアから問われる日本の戦争展」も今年で7回目。2013年の“ピースおおさか”からの加害展示撤去に反対し、市民の意見を無視する維新府・市政に対し、市民の手で「世界に通じる歴史認識を」の思いで始められた戦争展でした。今は「直前に迫る戦争」を止めなければならない切迫したものになりました。

4日は DANNY JIN ライブ

闘うrapper-DANNY JIN を招いてライブとトークから始まります！

36団体の展示をご覧ください！

今回の戦争展には36の団体が参加し8つの会場で展示を行います。京都祝園、岩国、京丹後 X バンド、沖縄琉球弧、沖縄辺野古、南洋諸島自衛隊配備、伊丹自衛隊申入れ等の戦争準備に反対する闘いも拡充。講堂では4日に「武器なきたかい」、5日には「台湾原住民族 生命の歌」「私たちの公聴会」の映画を上映。

5日は高井弘之講演会

高井弘之さんの講演「継続する大日本帝国と新たな戦争態勢」



「アジアから問われる日本の戦争」展 2025

5月4日(日) 10時～17時 5月5日(月) 10時～16時 阿倍野市民学習センター 入場無料 (※別途券別)

DANNY JIN ライブ&トーク
どいつもこいつも歴史から学ばず
※チケット1000円

高井弘之 講演会
継続する大日本帝国と新たな戦争態勢
～東アジアでの戦争を止めるために～



36団体の展示を掲載したポスター。各団体の名称、展示内容、会場、時間などが記載されている。



5日は高井弘之講演会
高井弘之さんの講演「継続する大日本帝国と新たな戦争態勢」

5月4日(日) 10時～17時
阿倍野市民学習センター

5月5日(月) 10時～16時
阿倍野市民学習センター

映画「武器なきたかい」

映画「台湾原住民族 生命の歌」

映画「私たちの公聴会」

3/6 ウィッシュマさん追悼アクション



ヨドバシカメラ前で

験者が発言。鹿児島から観光に来た若者、在日韓国人二世、大学生など多彩な発言もあった。

最後に、「入管は無理やり返すな！」「入管は人権を守れ！」「ウィッシュマさんのような犠牲を二度と起こすな！」などのシュプレヒコールをして終了となった。

MARCH
THURSDAY 6 7PM-8PM

3・6
ウィッシュマさん
追悼アクション in 大阪

ウィッシュマ・サンダマリさんが名古屋入管で強制収容されてから4年が経とうとしています。今年3月6日は名古屋で強制収容された日です。一日、入管・国境はまたも死の責任を問われておらず強制収容されている。約5時間前夜の加藤カメラ前でも追悼アクションが行われます。

ウィッシュマさんで事件の真相究明と責任の再検討を求めると同時に、およそ10年前の強制収容、その20年経った今、2013年の強制収容で強制収容された入管入管への反省の再と問に迫ります。また、またまた強制収容された入管入管への反省の再と問に迫ります。また、またまた強制収容された入管入管への反省の再と問に迫ります。また、またまた強制収容された入管入管への反省の再と問に迫ります。

3月6日 (木) 19:00-20:00
梅田ヨドバシカメラ前
スタンディングアクション

主催：入管の強制収容・人権侵害と立ち向かう市民連合
後援：311内外入管被害者支援センター
連絡先：try@try.or.jp
参加費：なし

4年前の3月6日、スリランカ人のウィッシュマさんが名古屋入管に強制収容され、体調を崩し、まともな医療を受けれずに死亡。入管が殺したと同じことである。

6日には名古屋で法事が行われ、東京、名古屋、大阪でスタンディング行動が行われました。大阪での追悼アクションは約80人が参加して行われた。

主催のTRYの方からの発言で始まり、若者や精神病院に閉じ込められた経



3/9 原発さよなら 関西アクション

2011年3月11日の福島第一原発事故の発生から14年の今年も「原発さよなら関西アクション」が中之島公園で約500人が参加して開催された。



蛭名宇摩さん一家の津軽三味線の演奏と歌で盛り上がり、元静岡県湖西市市長の三上元さんの講演が行われた。

三上さんは原発問題にかかわり、「脱原発をめざす首長会議」の結成をはじめとする運動の経験をもとに、「何か行動をしましょう」を訴えた。

集会では森松明希子さん、石川ひなさんのアピール、中道青森核廃棄物搬入阻止実、武藤福島原発訴訟団からのメッセージが読み上げられた。

中之島から西梅田公園まで約400人の隊列でデモ行進を行ない、市民に「原発さよなら」を訴えた。

参加報告 3/21 「天皇の硫黄島慰霊訪問」反対集会

3月21日に「参戦と天皇制に反対する連続行動」の主催で池田五律さんの講演会が開かれた。ナルヒトは今年4月に自衛隊機に搭乗して日帰りで硫黄島を訪問し、慰霊活動をする。ナルヒトは今年を「慰霊の年」として、神戸、硫黄島、沖縄、広島、長崎を訪問する予定である。戦争を引き起こし多くの兵士を死に追いやった天皇がその責任を反省するのではなく、謝罪するのではなく、上から目線で「慰霊」することで天皇の「ありがたさ」を強調する。

アキヒトが始めた「慰霊の旅」とその正体

「慰霊の旅」はアキヒトによって、「戦後50年」の1995年に始められた。憲法第7条で天皇の内閣の助言と承認による10件の国事行為が規定されている。アキヒトはその国事行為でない、そして「私的行為」でもない「公的行為」＝「禁じられていないからやっている」を始めた。

戦後50年：硫黄島、広島、長崎、沖縄、東京・・・
戦後60年：サイパン、各地の開拓地、戦没船員、
戦後70年：沖縄、長崎、広島、パラオ、フィリピン
訪問地では歓談・会食・意見を聴取する行為は、天皇が統治者であることを示す現代版の「国見」。

「慰霊」とは私的・天皇教の公的領域への浸透

天皇は「私的行為」として、宮中で「宮中祭祀」を行っている。それに対してアキヒトが始めた「公的行為」としての「慰霊」は本来「私領域」である天皇教を「公領域」に浸透させるものである。極めて危険な憲法違反。



天皇が「慰霊」をすることによって、国家と天皇の戦争責任を「無化」し、「慰霊」する天皇を美化し活性化しようとしている。

天皇・自衛隊・靖国

- 1) 自衛隊に近づく天皇 日常化した自衛隊ヘリの利用
- 2) 天皇に近づく自衛隊のネトウヨ化
自衛隊トップの天皇認証要求、防衛相が検討
“天皇の軍隊”を自称する動き
- 3) 靖国に近づく自衛隊

日米国防相が硫黄島慰霊式典に出席

3月に中谷防衛相はヘグセス米国防次官とともに硫黄島を訪問し、日米合同慰霊祭に出席する。日米の軍事担当相が慰霊式にそろって参加は史上初。

徳仁の硫黄島訪問も準備されており、日米のアジア太平洋への同盟を誇示するものとなる。

硫黄島は日米戦争で最大の激戦地の一つであり、日本軍は補給の無い状態で徹底抗戦が指示され、餓死と自殺、戦病死を含め2万人以上が死亡した。硫黄島は1968年に日本に返還されたが、住民の帰還は許されず、自衛隊の基地と米軍の演習場となっている。

百条委員会「報告書」を兵庫県議会に提出（3/5） 第三者委員会 斎藤知事の違法性を明確に認定（3/19）

前号でも報告したように立花を利用するために、維新会派の百条委員でもあった岸口・増田県議が、「デマ文書」と百条委員会の音声データを立花に渡していた。立花はそれを悪用して、告発者に対するデマ攻撃、百条委員会への攻撃と委員個人に対する攻撃を行った。「日本維新」は、県民の斎藤知事の不誠実な態度に対する怒りに抵抗できずに知事に対する「不信任案」を提出し、全会一致で決定しておきながら、裏では斎藤知事に取り入ってきたことが明らかになった。「日本維新」は県民の批判によって彼らを除名せざるを得なかった。こうした不当で卑劣な攻撃をはねのけて百条委員会は4日に調査報告書を全会一致で決定した。19日には、告発文書に関する「第三条委員会」が報告書を公表した。

百条委員会は3月4日に調査報告書を全会一致で決定した。報告書は5日の兵庫県議会に報告され賛成多数で承認された。

百条委の報告書では、「告発者捜しを行い、懲戒処分にしたことは公益通報者保護法違反の可能性が高い」、「斎藤知事等の対応は「客観性、公平性を欠いており大きな問題があった」と厳しく批判した。また告発内容については、「一定の事実が確認された」と認定し、パワハラ疑惑は「文書内容はおおむね事実」と認定した。

奥谷委員長は前日の記者会見で、パワハラ疑惑や告発者探しなどに関連して、「不適切であることは間違いなく、今後同様の行為を是認してはいけないという知事へのメッセージだ」と強調した。

しかし、斎藤知事は、百条委員会の報告に対して誠実に対応することなく、報告を「一つの見解」と切り捨て、発言の中で、死亡した告発者の名誉を傷つける私的情報に言及するなど、全く反省する対応を見せなかった。そして従来への対応を正当とする発言を繰り返した。

3月19日に公表された第三者委員会の報告は、百条委員会の報告よりも厳しい判断を公表した。第三者委員会は議会関係者でなく、弁護士や元裁判官で構成され、法的に厳格な判断を行った。

斎藤知事が告発内容を調べずに作成者捜しを行ったことは公益通報者保護法「違反」であり、告発者を懲戒処分にしたことは「裁量権の逸脱であり」「違法で無効」とあると県の対応を厳しく批判した。

告発内容の中では、県職員に対する斎藤知事のパワハラについては16項目のうち10項目がパワハラに該当すると認定した。「斎藤知事のおねだり体質」については、「他者から疑惑の目で見られるケースがあったことは否定しがたい」が、贈収賄の事実はない。優勝パレードでのキックバック問題については、「副知事の対応が疑念を抱かれるものとなった」がキックバックはなかった。

斎藤知事はこの報告に対して、「報告を重く受け止める。内容を精査する」と述べ、議会終了後に対応するとしている。一方で従来への発言について誤りを認めることはなかった。

参加報告 民主主義と人権を取り戻す 3・22 兵庫県民大会 斎藤知事は百条委報告を受け入れて責任をとれ！「告発者処分」の撤回と名誉回復を



3月22日土曜日 神戸メリケンパークにおいて兵庫県民大会が約600人の参加で開催された。集会は主催者代表の西さんの挨拶で始まった。昨年11月17日の知事選以降の闘いの経過報告、署名やカンパの報告も行われた。引続いて告訴・告発の報告、議員、県内各地の団体からのアピールが行われた。



市民オンブズ尼崎世話人の田中さんからは「阪神タイガーズ・オリックス優勝パレードに対する告発状を12月に提出し、1月21日に受理されたとの報告。市民オンブズ西宮の折口さんからは「情報漏洩に関する2つの第三者委員会の情報公開請求」関連の報告。議会で斎藤知事の不誠実な対応と闘う県会議員からの報告に続いて、アイ女性会議、丹波9条の会、宝塚宗教者・市民の会、西宮ナナの会などの市民団体からのアピールが行われた。

大会宣言では、斎藤知事及び関係者に以下のことを求めることを表明。

- ① 斎藤知事は百条委員会報告を受け入れ、自ら責任をとるよう求めます！
- ② 元県民局長の処分」の撤回と名誉回復を求めます！
- ③ 民主主義を破壊する「デマと2馬力選手」の真相究明を求めます！

決議後に市内をデモ行進。神戸元町の商店街では、多くの注目を集めて行進。私たちは斎藤知事が今後どのような態度を取るのか注視していきたい。



ガザへの支援物資搬入・電力を停止

(朝日 3/7・11) ガザでの停戦の第1段階が終了し、第2段階の協議中であるが、イスラエルは軍のガザからの完全撤退を拒否し、停戦だけの延長を主張。ハマスがそれを拒否したことに対し、支援物資の搬入停止、電力送電の停止によって住民を困窮させようとしている。

「核の脅し容認できず」核禁締結国会議

(神戸 3/8) 国連本部で開かれていた核禁条約の第3回締結国会議は3月7日に、「核の脅しは容認できない」と非難する宣言を採択して5日間の日程を終了した。

宣言には、被団協のノーベル平和賞への祝意、核廃絶への決意も盛り込まれた。

学術会議法人化法案提出

政府は7日、日本学術会議を2026年10月に現在の「国の特別機関」から特殊法人に移行させる日本学術会議法案を閣議決定し、国会に提出した。

光石衛学術会議会長は「自主性・独立性の観点から懸念が残る中での決定は遺憾」と表明。13日には反対署名3万人弱が内閣に提出され国会内で院内集会が開催された。

日本学術会議法案のポイント

- ・学術会議は、2026年10月1日に特殊法人とする
- ・科学者の代表機関。人類社会の持続的な発展、国民の福祉向上に貢献する
- ・国は学術会議の運営の自主性、自律性に配慮しなければならない。業務の財源に必要と認める金額を補助できる
- ・会員は学術会議総会が任命。定員は250人。学術会議は政府へ勧告できる
- ・外部有識者からなる「選定助言委員会」が選考に意見を述べる。首相任命の役員「監事」や、評価委員を置き、業務や財務の監査などをする

物価上昇 4.7%で実質賃金はマイナス

(朝日 3/10) 厚労省の毎月勤労統計調査(速報)によると「実質賃金」は3カ月ぶりにマイナスとなった。名目賃金は2.8%増に対して物価がコメの高騰などで2年ぶりに高い上昇率 4.7%で実質賃金は1.8%減となった。

老朽原発延長取消し名古屋裁判に判決

(朝日 3/15) 14日に名古屋地裁は、高浜 1, 2、美浜3号機の運転延長は不当として、約140人の住民による訴訟に対して、「規制委の審査・判断に不合理な点はない」として訴えを退けた。原告側は控訴する方針である。

報告 3/22 とめよう！戦争への道めざそう！アジアの平和

22日に「2025春 関西のつどい実行委」の主催でエルシアターで500人が参加して集会が開かれた。

三牧聖子さんの「トランプ政権のアメリカと世界平和の展望」、猿田佐世さんの「日本のとるべき防衛・外交政策は」の講演と、2人による対談が行われた。

案内 3/28 原発いらナイト in 宝塚 144回

2011年4月からちょうど12年目の第144回目です。阪急宝塚駅とJR宝塚の連絡橋で毎月最終金曜日17時から、サクソフンの演奏の下、脱原発のチラシを配布しています。もし機会があればぜひご参加ください。

案内 3/30「土地の日」連帯集会とデモ 2025



イスラエルは停戦第2段階＝戦争終結を認め、恒久停戦せよ！イスラエルとトランプはガザへのジェノサイドをやめろ！

日時：3月30日(日) 15時より
場所：新阿波座公園 デモ行進→難波
出演：ヒデオヴィッチ上杉 ロックバンド
主催：関西ガザ緊急アクション

案内 3/31 関電は約束まもれ！美浜集会



実効性のある工程表が提出できない場合は、40年超えの老朽原発は運転停止の約束です。守らせましょう！

日時：3月31日(月) 13時より
場所：関電原子力事業本部前(美浜町)
デモ行進→美浜町内でも
主催：老朽原発うごかすな！実行委員会

案内 使用済核燃料再処理の中止めよう再処理大作戦②

「使用済核燃料と再処理」：田窪雅文
「壮大なムダ使い核燃・・・」：大島秀利
日時：4月19日(土) 13時半より
場所：大阪国労会館 大会議室



1945年3月10日東京大空襲、12日名古屋、13日大阪、17日神戸、そして全国での無差別爆撃を忘れるな！政府は国家責任を認め被災者への謝罪と補償を行え！

今年で東京大空襲から80年となった。米軍は日本の木造家屋に特化した焼夷爆弾を開発し、3月10日にはB29を279機で爆撃、罹災者100万人、死者数約9万5千人。以後の空襲を含め東京区部市街地の約50%が焼失し、確認された遺体数だけでも10万5400人であった。それ以降、12日、19日には名古屋大空襲、13-14日に大阪大空襲、17日に神戸大空襲。そして東京、大阪、名古屋等には空襲が繰り返され、6月からは全国57都市に対して焼夷弾空襲が行おこされた。



東京空襲被害総図

この無差別殺人を主導したルメイ米空軍総参謀長には1965年に日本政府から勲一等旭日大綬章が贈呈された。米軍は朝鮮戦争、ベトナム戦争、

アフガン、イラクへの無差別爆撃を続行している。戦後、軍人や軍属、動員学徒など軍関係者には補償は進められたが、民間の被災者への補償や援護は行われなかった。東京や大阪から民間被災者への補償や援護を求めて訴訟が行われたが、1980年に東京地裁は「受忍論」にもとづいて補償を認めず、高裁でも敗訴した。1987年の最高裁の「受忍論」判例以後は、各地の裁判でも援用されている。

全国空襲被害者連絡協議会は、国会議員立法で「差別なき戦後補償」の実現を求めて活動している。

大阪大空襲から80年の13日に、ピースおおさか前では、ピースおおさかを取り戻す会の「空襲と戦争の被害と加害を展示するスタンディング行動」が行われた。また、朝鮮人、中国人、連合国の空襲被害者を、国籍を問わず追悼する集会が、追悼集会実行委員会の主催でピースおおさか前で開かれた。